

大晦日！ニューイヤーイブ！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2007年12月31日(月)08時05分55秒

大晦日の松本は強風で非常に寒い朝です。北アルプスの山々は大雪のようですね。大雪警報が出ています。来年もよろしくお願いします。

朝日新聞ひと欄に上田豊氏

投稿者：越田和男 投稿日：2007年12月30日(日)12時24分23秒

昨日の朝刊で見られた方がいると思いますが、「29年ぶりにヒマラヤ航空調査に参加した名古屋大学名誉教授『上田（アゲタ）豊さん』（64）」なる写真付の記事あり。

直接面識はないが、上田氏はAACKの会員で、かつてヤルン・カン（カンチェンジュンガ西峰）初登頂などで活躍された方。甲南の大先輩・伊藤愿さんの遺影をヤルン・カンの頂上に埋めて来られた。愿さんの訳書パウル・バウアーの「ヒアマラヤに挑戦して」が文庫本化（中公文庫・1992年）された時にその解説を執筆し、愿さんのことや、遺影を埋めた時のいきさつなどを詳細に書いておられます。

ご興味のある方もあろうかと紹介した次第です。文庫の解説というのは時には本文より面白いです。是非ご覧あれ。

Re: 浅倉満君 ありがとう

投稿者：マンタ 投稿日：2007年12月29日(土)11時11分33秒

> [No.216\[元記事へ\]](#)

村田信一さんへのお返事です。

> 一度は声を失い不自由な様子でしたが、トレーニングで会話できるようになり、にこにこして集まってくれました。同期では一番丈夫で73年3月の北海道ピロロ岳で2ビバークし帰還した強物でした。在りし日皆と一緒に集まった姿を公開します。<http://www.imagegateway.net/a?i=w9LiXweEUJ>

> （スライドショーをご覧ください。）

先日は有難う。偲ぶ会は暗くなる、特別部会を山岳部部室で開きませんか。計画してください。渉外・広報は忙しいでしょうが大森が適当でしょうか。グランドで壮行サッカーでもやろう。勝手なこと言ってすみません。よろしくお願いします。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2007年12月28日(金)09時55分26秒

雪見会のお知らせ。

1月26, 7日を基本に、その前後で、梅池高原 前田館 でおこないます。

ふるってご参加ください。

皆さんよいお年をお迎えくださいませ。

谷君冬山山行

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007 年 12 月 27 日(木)12 時 06 分 44 秒

去る 2 2 日より前穂北尾根（慶応尾根より）／前穂／吊尾根／奥穂／白出し下降のルートにチャレンジしていましたが、本日 AM 11：50 計画完遂し無事下山の旨連絡有りまた。

冬の雷鳥

投稿者：マンタ 投稿日：2007 年 12 月 26 日(水)20 時 51 分 37 秒

雷鳥へ よくペアを組んで俺の変な計画につきあってくれて有難う。
よくルートファインディングにミスったパーティーでした。どちらかがルートミスに気がつきなぜかうまく山行を終えていた。日高でガスられた時の話を又君としようと（奇跡的な軌跡を）思っていた。ひょうたん池でのおもしろい話も。助けられたり、助けたり。攻撃的な俺に反し、いつも控えめで仲間をそれとなくひき立てる、きみの笑顔に助けてもらった事の方が多い。今日斎場へ向かうバスから、よく晴れわたった空に白い雲が、アツ白い雷鳥や！皆がルートファインディング間違えんように、優しく微笑みながら飛んでいた。
年末とは思えないド快晴の今日・真っ白な雷鳥もルートを間違えることなく、天空高く羽ばたいているようでした。いつか又ザイルを組んでお山へ登ろう。いつもの笑顔で“ガンバ”

海拔 199m

投稿者：福田信三 投稿日：2007 年 12 月 26 日(水)16 時 54 分 24 秒

朝倉さん、ほぼ 10 歳年下とのこと、
面識はありませんがご冥福をお祈りいたします。

20 日からオークランドに居ます。「ノムクウネル」の生活。
これではいけないと思い、このあたりの最高峰、MT. EDEN に
挑戦。バス停から 30 分、さしてあえぎもせず頂上へ。
市街はもちろん、海の方この島まで 360 度の眺望。
しかし、海拔 199m。それでも一等三角点。
“小生向きの山を見つけたりエデン山”

こちらにも異常気象は容赦なく攻撃中。
予想以上の低温、朝晩は T シャツで寒いくらい。
日本のタクシーは停車中でもアイドリング、
真夏は仕方ないとしても、春でも秋でも。
欧米とかここでも皆エンジン停止。
日本の全タクシーが 1 時間アイドリングを止めたら、
炭酸ガス排出量は How much ?

今年最後のボヤキです。
皆様、良いお年をお迎えください。

福田信三

通夜

投稿者： **げて** 投稿日：2007 年 12 月 26 日(水)13 時 22 分 8 秒

大森君の投稿に追加しますと、
北浦さんの友人、写真部のシーチンさん。
よくウィーンに来てました。

今日は渋谷、ポチ、ペコちゃんやらも弔問してるかも。

朝倉さん

投稿者： **大森雅宏** 投稿日：2007 年 12 月 25 日(火)23 時 03 分 4 秒

今日はお通夜に参列しました。写真は現役のころよりふっくらしておでこが広くて、でも笑顔が朝倉さんでした。

村田さんご夫妻・早川さん・高橋さん、中沢さん、写真部の北浦さん・WVの和田さん、武田会長・山本編集長・井上局長・松下さん・西村さんご夫妻、他にも居られたかもしれません。

「久しぶりに顔をあわせる機会が、こんなやなかったらええのに」とは山本編集長。ほんとにそうだと思います。

早すぎる！！

投稿者： **げて** 投稿日：2007 年 12 月 25 日(火)03 時 39 分 38 秒

家内（イモ…懐かしい響きですな）からの電話で、山本先輩から電話があり朝倉先輩の訃報を知りました。年末スキーのお誘いかと思えば……朝倉さん。

秋に、G先輩に誘われH先輩の墓参りに行ったときの話しからえば早すぎる！

高校時代からの先輩で、さらにその先輩の縁故で芽づる式に山岳部に在籍するはめになって、自分が一番、旬の時代に関わった人なので…残念です。

思えばヒナコさん、横山さん…いろいろお世話になった人たちがどんどん先に逝ってしまわれる。

最近時々感じるのですが、自分はあと何回正月を迎えることができるのかなあ、と思うんですよ。

めったに投稿しないのにスイマセン。

よう頑張ったね、朝倉君！

投稿者： **高橋けい子** 投稿日：2007 年 12 月 24 日(月)22 時 00 分 7 秒

皆の話をよく聞いてくれる、優しい同期でした。

最後に会ったのは、四月の中澤君のお父様のお通夜の時でした。車で送ってくれましたが、暗かったので、なかなか自宅への道案内ができず、"ゴンちゃん、それでよう運転してるなあ！"と呆れられました。 次の日病院だとかいってたけど、元気そうで、このまま治ってくれると信じてたのに。。

後輩達が書き込みをしてくれたので、私も思わずしてしまいました。初めての書き込みで、ドキドキです。村田君がどんな気持ちで写真を編集したか、と思うと胸が熱くなります。涙で朝倉君の字を押し誤ったようだね。いっぱい編集ありがとうね！

朝倉さん

投稿者：大森雅宏 投稿日：2007年12月24日(月)19時28分45秒

朝倉さん。
優しい先輩でした。

入部したとき、装備を一度にそろえるのは大変だろうから、とご自分が使っておられたキスリングを戴きました。

当時は上級生から新入部員に使わなくなった装備がプレゼントされることがよくありました。結局私はキスリングを自分で買わず、傷んだところを修理して4年間使いました。

私が1年のときの4年生。ムシケラと神様です。声が素敵な方で、ずいぶん大人に感じました。卒業してからあまり会合には出てこられませんでした。同期の方々とはよく集まっておられたようです。何年か前の甲窓にも写真入りで村田さんが寄稿しておられました。

健康上の問題が、とは伺っていましたが、ずいぶん早いお悔やみの知らせに驚きました。

どうぞお安らかにとご冥福をお祈りいたします。

大森

浅倉満君 ありがとう

投稿者：村田信一 投稿日：2007年12月24日(月)17時06分29秒

一度は声を失い不自由な様子でしたが、トレーニングで会話できるようになり、にこにこして集まってくださいました。同期では一番丈夫で73年3月の北海道ピパロ岳で2ビバークし帰還した強物でした。在りし日皆と一緒に集まった姿を公開します。<http://www.imagegateway.net/a?i=w9LiXweEUJ>
(スライドショーをご覧ください。)

!!!

投稿者：川野幸彦 投稿日：2007年12月24日(月)16時33分33秒

朝倉さんが亡くなられた！心よりご冥福をお祈りいたします。

訃報

投稿者：井上 知三 投稿日：2007年12月24日(月)15時29分30秒

朝倉 満さん（55才・大S50法学部卒）が、本日12/24(月) 午前7時36分亡くなられました。
喪主：朝倉悟(ご長男) 通夜12月25日(火) 19:00～ 告別式26日(水) 11:30～

場所：千里玉泉院 06-6832-9988 吹田市津雲台 7-7-1

以上事務担当よりお知らせいたします。

冬山

投稿者：川野幸彦 投稿日：2007年12月21日(金)11時21分6秒

武田さん！ご無沙汰です。お元気ですか？「山日記」読まれましたか！ありがとうございます。今月中には、2年生編を仕上げるつもりです。そして、塩崎さんにはいつも無理なお願いばかりで申し訳ありません。

谷君！この冬は結構雪が多いようです。昨日、新潟から大糸線経由で松本に帰ってきましたが、平岩から大町まで雪景色でした。夜だったので詳しくは分かりませんが、沿線の多いところで3～40cm位あるようでした。山では、相当降っていると思います。雪崩等に注意して下さいね。雪質が“変”な時は直ぐにルートを変え、ザイルを出して下さいね。

明日から3連休ですね。みなさん！どこかにお出掛けですか？私は年賀状書きに大掃除の予定です。

寒い！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2007年12月17日(月)21時04分50秒

出張で札幌に来ています。とても寒いです。

皆さんの活発なご報告を拝見し「頑張らねば！」と励まされます。

暮れはどこかに出かけたいのですか予定が立ちません。

ここにきて野暮用が入りました。

大森さん！今年は忘年やりますか？

ではこの辺で失礼します。これからラーメン食べにいきます。

シブレ山ハイク

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007年12月17日(月)00時33分19秒

今日、ぽっかりと日程が空いたので、妻を誘って西区木津のシブレ山へハイキングに行ってきました。車から約1時間で山頂。展望も何も無い藪山でしたが、太陽と緑の道に指定されているだけあって、道はよく整備されていました。

ラーメンとコーヒーでのんびりしていると、マウンテンバイクチームがやってきてしばし談笑。最近の自転車は、前後輪サスペンション付、ディスクブレーキなんですね。見ていると欲しくなってきました。

息子が、スキー同好会に所属し、冬休みは戸狩スキー場でアルバイトをしながらスキー合宿に行くとのこと。スキー板の調整を手伝いながら、いつも時間がすれ違う息子と久しぶりに親子の会話。自分で稼ぎながら行くのは良いのですが、うらやましい。代わって、私が行きたーい！

皆様は、冬の予定はもうお決まりでしょうか。

ご報告

投稿者：江田和則 投稿日：2007年12月15日(土)00時32分52秒

体育会本部副委員長・江田です。

12月15日のリーダーズキャンプにて甲南大学体育会山岳部が体育会賞を受賞しました。

谷さんの活動が高く評価された為の受賞であるので、僕個人が山岳部所属という変な意味は一切含まれていません。

川野幸彦の山日記

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007年12月14日(金)23時56分59秒

本日剣岳北方稜線の遭難事故を検索中の所、偶然「川野幸彦」の項目を発見し早速開いてみました。川野君の大学一年生時の山日記が更新されているのを発見、興味深く且つ楽しく再見しました。仕事忙しいでしょうが二年時以降の山日記投稿を楽しみに待っております。

お礼

投稿者：川野幸彦 投稿日：2007年12月14日(金)22時34分43秒

塩崎さん、日記の更新ありがとうございます。無理なお願い申し訳ありません。今年もあと2週間となりました。忙しいです。皆さん！風邪には注意して下さい。結構、流行っているようです。谷君、計画書ありがとうございました。今年は雪が多いです。雪崩に気を付けて下さいね。

登山用品店

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007年12月8日(土)20時51分19秒

久しぶりに大阪に行く機会があったので、ついでに登山用品店めぐりをしてきました。I B Sとロッジのすぐ近くに好日山荘まで出来ていてびっくり。登山靴が欲しかったので3軒とも覗きに行ったのですが、なんかいろいろ有りすぎてよく分かりませんでした。アイゼンも冬用シュラフも欲しいのですが、どれも高い。今冬も、旧式と夏用2枚重ねでなんとかこなすのでしょうか。

クビ・ツアンボ源流の報告

投稿者：越田和男 投稿日：2007年12月1日(土)22時28分20秒

今夕、JACの年次晩餐会前の報告会で標記報告がありましたので、拝聴させていただきました。演者は遠征隊最年少の同志社一年生の小林君で、ヒマラヤ4件の報告の内、最もすっきりした爽やかな報告でした。和田隊長も来られていて、プロジェクターの操作をやって居られましたので謝意を表しておきました。谷君の能力と健闘ぶりを讃えて居られました。誠に喜ばしき限りです。

富士山

投稿者：飯田 進 投稿日：2007年11月28日(水)10時55分15秒

1960年 富士山で早大山岳部が遭難した折、現場におられた同大OBの山崎安治さんとその折の話を聞きながら、1975年の11月末、佐藤小屋に泊って、冬山講習会の手伝いをしました。8合目辺りを登ったり降ったり。やたらと風が強く、雪に交じって軽石も飛んできました。夜は大人数で部屋がなく、廊下で寝かされ、その寒かったこと。昼は表で、夜は廊下で、出てくる酒はチワーツと冷えていて、えらい目に逢いました。富士山は寒かった。

富士山合同登山

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007年11月27日(火)11時34分37秒

関学とのこの登山がうまくゆき、正直安心しました。1954年に東／日／慶の三大学が、そして6年後の1960年に早大山岳部が同じ11月に、富士山吉田大沢で多数の遭難者を出した事、先輩のかたがた、諸兄の記憶にも残っていると思います。11月の富士山と言えば、どうしてもこれを思い出します。

富士雪訓

投稿者：現役 谷 勇輝 投稿日：2007年11月27日(火)05時39分0秒

25日深夜に全員無事、帰阪致しました。
報告遅くなり、ご心配おかけしてすみませんでした。
以下、報告させていただきます。

= 行動・天気概要 =

積雪量は例年と比べて少なかったものの、連日、好天に恵まれたおかげで主な目的にある雪訓・頂上ビバーク訓練を無事行うことができた。

また、両校の習慣・技術で違いがあったものの、それについて議論、検証することでお互い得るものはたくさんあった。それに加え、両校現役の友好も今まで以上に深まったと確信している。

= 行動詳細 =

22日（木）

大阪駅前に20時、4人全員集合した。私と中島さん・山本は面識あるが、奥田は今回が初対面である。

自己紹介を早々に済ませて車に乗り込む。車内にて奥田は昨年、南米を旅してきた山本の話に興味津々。他に遠征話で盛り上がる。

名神、東名高速を乗り継ぎ、山梨へと向かう。6h程で御殿場ICへ到着。高速を下り、下道を走ること1h。翌日、午前3時過ぎ、吉田口登山道の車止めである馬返しに到着。

既に1パーティーテント内で仮眠していた。

我々もテントを立てて、しばし仮眠をとるために準備する。

車から出るとやはりサバイ。御殿場IC付近の標識では気温-5℃と表示。馬歸しは標高1400m程。それ故、恐らくここは-10℃くらいあるのだろう。

車の排気ガスも白く消えずに空中を浮遊している。空を見上げると、快晴で星が良く見える。冷え込みがきついもうなずける。

23日（金）天候；晴れ

5時起床。各々朝食を済ませ、テントをたたんで装備の割り振りを済ませて出発。

馬返し（1合目）から佐藤小屋（5合目）まで歩くこと3時間、佐藤小屋に到着。そこにテントをはりBCとした。

山頂を見ると8合目付近まで雪らしいものが殆んど見えない。

中島さん曰く、昨年は6合目付近で雪の上にテントをはったそうだが、今年は氷のかけらさえ見当たらない。
‘山頂でのピバーク訓練は雪洞ではなくツェルトか。。。’と話しつつ、雪訓の準備を済ませ雪のあるところまで登ることにする。

8合目付近まで登ると雪訓できそうな雪面が残っており、歩行訓練・滑落停止・スタカットの練習を3時間弱行う。ロープ・ギア類をその場にデポした後にBC帰幕。テン場には我々以外に5張り程テントが建っていた。

その中には防衛大学山岳部さんのテントも並んでいた。

水は小屋から入手できたので、食事の準備がラクであった。と言うか、雪が無いので小屋からもらわなければならない。

夕食はなんと、カニを丸ごと1匹鍋にぶち込んだカニ鍋！&牛汁！

美味い！！

カニの取り合いで喧嘩をすることなく、満腹になった後就寝。笑

24日（土）天候；晴れ

4時起床。昨夜より暖かい。辺りは月明かりに照らされ案外明るい。

頂上でピバークできる装備（本来、アタック時に担いでいる装備と個人マット）をザックに詰め込み出発。

ヘッドラをつけてしばらく歩くと太陽が顔を覗かせて、麓の雲海が綺麗に見える。

昨日、登攀具をデポしたポイントまで行き、回収して山頂を目指す。

9合目手前から、アイゼンを履き登山道を離れて、雪面に移り2人1組となりアンザイレンしてコンテニューアの練習をする。表面がカリカリで訓練には打って付け。

しばらく、コンテでの登った後、頂上手前からスタカットで登ることにする。スノーバー・スクリューによる雪上からの支点の確保、アックスによる支点作り。また、雪上でのピレー技術の習熟など、特に奥田にとっては得るものがたくさんあったと思う。

頂上に到着後、みやげ物屋の風下に吹き貯まっている雪山に雪洞を作ろうと試みる。

真横へ掘り進めたところで、何とか4人が寝られるだけのスペースを確保し、入り口横にブロックを積み上げて閉じてしまい、出入り口にはツェルトを張る。

寝床を確保したところで、少し場所を移動してセルフレスキューの訓練を行う。夕方に近づくにつれてぐんぐん気温が下がり、手足がかじかむ。風も少し増してきた。

訓練を終えると早々に雪洞へもどる。

この時間になると、頂上には人っ子一人としていない。ましてピバークしているパーティーなど。。。

雪洞内はやはり寒い。外はモット寒い。

あまりにも寒いので4人でツェルトをかぶる。まずは暖かい飲み物をとガスをつけると一気に暖かくなる。夕食時には個人装備であればあれよと酒・サバ缶・スルメ・チキンラーメンがお出ましになる。

夕食後、ガスを焚くともったいないのでローソクに火を灯してグダグダと話す。内容はお察しの通り、ココには書くことはできません。笑。。。

午後8時頃、そろそろ寝ようかと‘巣作り’をするためにローソクの火をけすと、一気に本来の状態へと早変わり。

早々にシュラフカバーへ入り、その上からツェルトをかける。やはり体の末端部分の冷え込みが厳しい。足の指が冷え切っており、動かして血行を促すが感覚が無い。

しかし、ツェルト1枚かけるだけで想像していたよりも暖かい。これなら何とか朝まで耐えることができる。

25日（日）天候；晴れ

3時20分起床。身を寄せ合い殆んど一睡もできないまま、翌朝を迎える。体は心から冷え切っている。驚くことに、誰も頭痛（高度障害）がでなかったようだ。ただし、奥田は前日に頭痛の兆候がみられたので、頭痛止めをのんでいた。

その要因として、中島さんは3月の遠征で順応しているまた、山本は昨年の南米で4千m台まで順応、私も先日の遠征で順応しているからだと思われる。

で、まずは暖かい飲み物をと前日、テルモスに入れていた水を沸かす。（ガスの節約のため少し熱くなったところでガスを止める。）

ぬるい味噌汁だが格別に美味しい。

そして、暖をとるために水作りをする。すると、ツェルト内はこれまた一気に暖かくなる。冷え切った体がどんどん温かくなる。

朝食後、私以外の3名はお鉢周りへ行き、私は昨日の雪訓で膝を痛めたので先にBCへと下りることにする。（実は、奥田と2人で雪上でスタカットの練習をしている際、支点でタイオフして使用していたスノーバーが抜けて滑り落ちてくるではないか。セカンドで登っていた私がそれを捕まえようとしたが、猛スピード滑り落ちて来るので手で止めきれずに右膝に衝突したのだった。で、今朝もまだその痛みが残っていたために先にBCまで戻ることにした。）

BC到着後、テントをたたみ3人の帰りを待つ。

待つこと2時間弱。ようやく合流し、ほぼ安全域に達しているので予備食のラーメン、カレーうどんを食す。満腹となり、動くのがいやに成りかけた。しかし、3連休の最終日とあって帰りの高速の渋滞で終電に間に合わない心配もあり、ゆっくりもしてもらえない。温泉にも浸かりたいので。

佐藤小屋から1時間少々で車止めまで行き着く。

河口湖駅前の観光案内所でオススメの温泉を尋ねると、駅から車で5分ほどのところに溶岩温泉があると聞き、早速行ってみる。銭湯のような温泉だったが、まあまあいいところであった。

総括

今回、初めての関学山岳部さんと合同登山を試みました。

私と中島さんは以前、一緒に八ヶ岳ヘアスクライミングへ行ったものの、それ以降一緒に山に入ったことが無く。山本と山へ行くのは今回が初めて。それに、奥田は関学2名とは今回が初対面。また、両校の習慣・技術面。などなど。

色々心配種はあったものの、そんな心配を吹っ飛ばすほど有意義な山行となりました。

追記

午後3時過ぎ、大阪へ向けて出発したが、案の定渋滞につかまり。中島さんと山本を大阪駅で見送り、私の家に近い奥田を自宅へ送り届けて帰宅すると日付けが変わっていた。山梨から9時間もかかった。。。さすがに今日はジバークと運転の疲労がたまって1日中寝ておりました。そのおかげで目がさえて眠れないであります。。

寒い秋！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2007年11月25日(日)10時33分13秒

一昨日は北海道の上ホロカメツク山で雪崩遭難がありましたね。4の方が亡くなりました。合掌！テ

レビで現場を見ましたが、山自体も小さくて雪崩が起きるような感じではないですね。やはり短時間の大量降雪は思いがけないところで雪崩を生むのでしょうか？

山本少年！野暮用が多いようですね。私もこのところ3回目の合併でバタバタしています。文化の異なる会社と一緒にするのは大変なことです。結婚と同じです。ところで、私の冬用登山靴は合成皮革でワンタッチ式アイゼン装着可です。4～5年前にバーゲンで買いました。定価は4～5万円でしたが、“残り2足”で買値は2万円位でした。ワンタッチ式アイゼンも簡単に装着でき便利です。このアイゼンは直ぐに外れそうですが、そんなことはありません。靴の手入れも、汚れを落とし乾燥した後に防水スプレーをかけるだけです。これまた簡単です。合成皮革靴はプラスチック靴と違い、ある程度、足に馴染むようです。快適です。

皆さん！暮れはどちらにお出掛けですか？私は、昨年敗退した西穂高岳を考えています。ロープウェイと山小屋を利用します。ただ、年末は仕事が入りそうで行けないかも知れません。その時は“寝正月”です。

登山靴

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007年11月24日(土)22時07分44秒

好天3連休にもかかわらず、所用続きで山には入れず、毎日家の窓から横尾山に昇るご来光を眺めています。明日はY M C A六甲で自然観察指導員講習会のお手伝い。先週の下見はとても寒かったのですが、明日はちょっとは暖かそうですね。

川野くん、元気ですね。ところで冬用登山靴はどんなのを履いていますか？私の学生時代から愛用の登山靴は、底革がぼろぼろになってきてもう寿命です。トレッキングシューズも、底はがれをボンドでごまかして使っています。そろそろ、今風のワンタッチアイゼンの履ける登山靴を買おうかと考えています。

八ヶ岳硫黄岳

投稿者：川野幸彦 投稿日：2007年11月23日(金)15時28分43秒

快晴の下、八ヶ岳硫黄岳の登ってきました。以下、報告です。

・11/23（金）快晴 美濃戸⇄赤岳鉱泉⇄硫黄岳

深夜2：30に松本の自宅を出た。美濃戸口の辺りで別荘区画に迷い込み右往左往。カーナビと地図を頼りに美濃戸に4：10着。予想に反して駐車車両は数台。連休初日には少ない。少し休んで、真っ暗な中ヘッドランを点け出発。寒い！歩くと暖かくなると思い薄着だったのが間違い。重ね着する。林道を辿る。1時間程で夜明け。間もなく林道も終わり登山道となった。この辺りから数日前に降った雪が積もっていた。石ころが無い分、夏よりも歩き易い。沢沿いに付けられた道を行くと1時間で赤岳鉱泉に到着した。ここには足場が組まれ、上から水を垂らし、人工の氷瀑（高さ15m位）が作られていた。ただ、完全に結氷してなくて崩れそうだった。ここで冬山装備に着替え硫黄岳目指す。樹林帯のトラバースで同心沢とジョーゴ沢の2本を横切り硫黄岳から延びる尾根を辿った。先行パーティのトレースがあり助かった。1時間半で森林帯を抜けガウ場となる。そこから20分でだらだら硫黄岳頂上。快晴の下、360度の大パノラマ。なお、ここまでアイゼン無しであった。帰りは快適に飛ばし1時間半で美濃戸に戻った。途中、赤岳鉱泉に向う大勢の登山者とすれ違った。家に帰り、風呂に入りバタンキュー！疲れた！！

美濃戸5：00⇒赤岳鉱泉7：30⇒硫黄岳頂上10：10⇒赤岳鉱泉11：15⇒美濃戸12：40

ヒマラヤもよし、日本の山もよし

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2007年11月22日(木)15時30分50秒

ご一読お勧め。

題名。山頂渉獵。南川 金一著。白山書房

A5判 298頁 ￥2.100

100名山に背を向けて、人煙たった、山、山を“わたりあさった”

[道なし]の162山の記録。巻末・642山のデータつき

ついでに、立ち読みしかしてませんが――

題名。山の本。季刊。白山書房

B5判 写真無し。山愛好者のエッセイ中心の同人誌のような本。

既刊 第1号～第62号 (各￥1.000～￥1.400)

リンクの更新

投稿者：管理人 投稿日：2007年11月20日(火)07時38分7秒

リンクのページを整理し雨宮さん推奨の

“「山頂渉獵」を追って”を追加しました。

<http://www1.parkcity.ne.jp/mxl02562/index.htm>

富士山雪上訓練／関学・甲南合同

投稿者：現役 谷 勇輝 投稿日：2007年11月20日(火)00時56分5秒

この度、縁あって関西学院大学山岳部と富士山へ雪上訓練へ行くことになり、そのご報告をさせていただきます。

両校の現役が合同で何かをするというのは久しぶりの事ではないでしょうか。。

目的；

- ・雪上での歩行・登攀技術の向上
- ・高所経験
- ・頂上ビヴァークによる耐寒訓練
- ・概念把握

日程；

- 11月22日(木) 離反、20時大阪・中央郵便局前集合
- 23日(金) 富士吉田～五合目佐藤小屋付近BC⇔八合目付近にて雪上訓練
- 24日(土) BC～雪訓～頂上にてビヴァーク
- 25日(日) BP～お鉢周り～BC～帰阪
- 26日(月) 予備日

参加メンバー；

=関学=

中島 健郎 理工4 23歳

山本 大貴 社2 21歳

=甲南=

谷 勇輝 理工4 22歳

奥田 剛史 営2 19歳

尚、今回の計画は関学山岳部サイド及び、甲南山岳会（武田会長）の了承得ております。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2007年11月18日(日)11時10分47秒

> [No.195\[元記事へ\]](#)

DONNKICHIさんから写真が届きました。

アルバムにUPしました。

チベット

投稿者：DONNKICHI 投稿日：2007年11月16日(金)00時03分34秒

ヤラピークの楽しかった報告は皆さんされましたので、前半にカトマンズからラサまで行った行動記録を書きます。9/26カトマンズーゴダリーニヤラム3750m高山病の兆候が出る。

27日ニヤラムーティンリ5000mの峠を2つ越える。28日ティンリーエベレストB.C.5200mーラツェ、エベレストB.C.では天候が悪く全く見えず。29日ラツェーシガツェ 30日シガツェ1日観光タルシンボ寺 10/1日シガツェーギャンツェ・バンコル・チューデ（白居寺）見学。

2日ギャンツェーラサ 3日ラサ市内観光ポタラ宮・ジョカン寺 4日ラサ市内観光デブン寺セウ寺 5日ラサーカトマンズ・エベレストが機内から綺麗に見える。

後で写真を投稿いたします。今回の旅行では塩崎さんに格別のお世話に成りました、有難う御座いました。

尚、チベットに興味のある方(有)旅行人 チベットがお勧めです。

第1回 学生部遠征

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2007年11月14日(水)16時48分19秒

クビ・カンリ報告会で話題となった、関西学生部の、立ち上げ！！

JAC 学生部の初の遠征は、1966年、マッキンレー三山の内の二峰、ハンター（4.442m）とフォレイカー（5.303m）に登頂後、75キロの

カヒルト氷河を下降し、登山基地の、タルキーナまで、180キロを歩いて下山。

参加は「慶応、芝工、専修、明葉、学習院」の有志構成です。

ついでに、右側の写真・ヌプエ（7.879m）は、1961年、かの有名な、クリス・ボニントンに登頂しています。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2007年11月14日(水)09時13分51秒

現役谷君が写真を送ってきました。

アルバムにUPしました。

蟹キノコの会。

山本君大森君、何時もの事ながら大変お世話になり有難うございます。

一杯1500円の松葉蟹、310円の勢子蟹、どちらも美味かったですが土産にもらった天然のナメコ、家族に大好評でした。おろしナメコで酒がすすみました。

アルバム拝見してます

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007年11月14日(水)07時34分59秒

朝一から、かの地の写真を堪能。鮮烈、爽快なり。

なじみの面々が写っているので、楽しいです。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2007年11月14日(水)04時57分57秒

柏さんから届いた写真をアルバムにUPしました。

訂正

投稿者：現役 谷 勇輝 投稿日：2007年11月14日(水)00時44分35秒

失礼しました。。

ご指摘の出る前にと。。

スプツェは写真'右'です。投稿後に気付き。。

ついでなので、エベレストBCから望むクーンブ氷河。ずたずたな様子が良く分かります。。



<http://doushishasangaku.kitunebi.com/>

ヒマラヤ最高高地の救命救急室

投稿者：現役 谷 勇輝 投稿日：2007年11月14日(水)00時34分39秒

見ました！

最近、両親がヒマラヤに関心を示し始め、カレンダーに放送時間を書き込むほど。。

緊急救命、エベレストの商業登山、などなどとても分かりやすく、表現されていました。さすがBBC制作。

しばし懐かしい？山の映像に見入ってしまいました。

写真；カラパタルから望むエベレスト（中央）とヌプツェ（左）

遠征終了後に行った、エベレスト街道トレッキング中に撮影。



<http://doushishasangaku.kitunebi.com/>

お薦め！BS第1テレビ

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2007年11月13日(火)13時29分34秒

- 11月13日。ヒマラヤ最高高地の緊急救命室
- 11月14日。ヒマラヤ最古の花
- 11月15日。テンジン・「前編」
- 11月16日。テンジン・「後編」
- 11月18日。山野井康史・妙子
- 11月13日～16日は、21:10から
- 11月18日は19:00? or 21:00

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2007年11月13日(火)11時52分7秒

大森君からカニキノコの会の写真が届きました。
アルバムにUPしました。

かにキノコ

投稿者：現役 谷 勇輝 投稿日：2007年11月13日(火)11時03分42秒

先週末のかに・キノコ鍋に参加させていただきました。

今年は一昨年、昨年と打って違って、天気に恵まれ。

晴れ空の下、キノコ狩り、その後雨具ナシでかに・キノコ鍋を食す事ができました。

私はこの集まりに参加させていただき早 4 回目。中でも今年が一番たくさんナメコを収穫することができました。

でも、収穫したのは私（たち）ですが、見つけたのは山本さん。

同じように山を歩いているのにも関わらず、ナメコの臭いをかぎ分けて群生を見つける山本さんはスゴイ！

来年で 5 回目！？となりますが、是非参加させていただきます。

同乗させていただいた武田さん、運転お疲れ様でした。どうも有難う御座いました。

また、山本さん、塩崎さんをはじめ、関さん、安井さん、浪川さん、大森さん、どうも有難う御座いました。

<http://doushishasangaku.kitunebi.com/>

カニキノ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007 年 11 月 13 日(火)00 時 45 分 39 秒

今日は冬型、天気は 2 日ずれていたら、昨年のように大変でした。

土曜早朝、2：30 に畑が平に到着すると、すでに武田さんのお車と現役のテントが。テントには明かりが着いており、その後も現役は徹夜でなにやら語り合っていた様子、怪しい話？ 若いって良いですね。外は、昨年とうって変わって、満点に星空。オリオン座の四角の中にあんなに沢山の星があったっけ？

7 時頃から現役 3 人と森の中に入り、ナメコ、ブナシメジをそこそこ確保。現役とは森の奥で分かれ、森を徘徊して自力で駐車場へ戻るように指示し、OB さんのお迎えに。

10 時到着の塩崎さん、安井さん、森本さん、浪川さんと合流、森の藪こぎキノコ探し経由、山頂をへて、駐車場へ 13：00。快晴のもと、絶好の登山日和でしたが、キノコはあまり採れませんでした。例年だとムキタケが沢山あるのですが、今年はほんの少しだけ。先々週に続き、キノコ前線に異常が有るようです。ともあれ、ネパール帰国チームはさすがに高所トレーニングが効いているせいか、皆さんお元気でパワー全開した。

七釜温泉で汗を流し、買出しをしてカニキノモードに。キノコ洗いは現役、コンロ準備は武田さん、焼きカニは浪川さん、昨年の嵐と違ってすべて順調快適に。

スーパーで衝動買いをした香住鶴原酒「ひやおろし」が最高、カニもキノコもいつも通り美味しい。ネパール、チベットの話に花が咲く頃、大森さん到着。再度焼きカニとお酒で再スタート。三々五々眠りに・・・。

日曜日、朝から雨でしたが、競市へ。買付けの塩崎さん、割振りの大森さんと、またまた各人の個性を発揮して、ご活躍。各自に分配をして解散。楽しかったです。

私はたまたま通りかかった神鍋で但馬祭り？をやっていて、但馬牛焼肉やトチ餅などをいただき、帰路へ。

盛岡

投稿者：川野幸彦 投稿日：2007 年 11 月 12 日(月)19 時 57 分 42 秒

ご無沙汰です。出張で盛岡に来ています。寒いです。

只今、ホテルのパソコンからです。

皆さん！！風邪には注意して下さい。

柏さん・森本さん凍傷とは！軽くて良かったですよ。早い回復をお祈りしています。

冬にはスキーにご一緒したいです。

カニ・キノコ！楽しそうですね！参加したかったです！

最高でした。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2007 年 11 月 12 日(月)15 時 17 分 58 秒

3 人とも 8,000m のサミッターというシェルパに恵まれ、日本に何回か滞在したというコックが作る現役時代より美味しい日本食を食べながら、気のあった連中と素晴らしいランタン谷を満喫し、ヤラピーク(5,520 米)に登る事が出来ました。

カンさんが書かれていたように、実に楽しく面白いトレッキングでした。ヤラピーク(5,520m) も、まさか登れるとは思っていませんでした。ヒマラヤでは小さい山ですが、小生にとっては最高峰の山になりました。

最後の村まで行けたら、ええわ。B C まで行けたら、もうええわ。A C まで行けたらもう満足と言っている間に、鶴木さんからお借りしたピッケルとアイゼンで頂上に立つ事が出来ました。ルートは左からトラバースし、雪崩を避けて雪壁を直登して稜線に達し、岩稜伝いに頂上です。フィックスを 2 か所、約 50m と約 120m 使いました。シシャパンマやランタンリルンが目の前に見え感激でしたが、しんどかったというのが正直な所です。

雨宮さんから拝借したパルスオキシメーターで毎日数値をチェックし、何事にもビスタリ・ビスタリで行動しましたので、高山病には掛かりませんでした。只、アタックの日に両足凍傷にかかり、色々と皆さんに助けて頂きました。カンさんは既に完治されたようですが、小生のは少し重く、帰国後も、毎日病院に通って洗面器に両足をつけて殺菌し、薬を塗って包帯を巻き、血流を良くする点滴を受けているのがやっかいです。凍傷になった原因を分析する必要がありますが、今の所は治療に専念したいと思っています。踵歩き出来ますのでご心配なく。いい年をしてと云われるのが嫌で、その方が心配です。

全員が最後まで行動出来なかった恨みはありますが、これがヒマラヤ。またの機会を待っていただいていると思います。お世話になり通しだった皆さん、小西リーダー、青木さん。カンさん、塩崎・ドンキチ両君、改めて感謝と御礼を申し上げます。又、南井様には凍傷について貴重なアドバイスを賜り有難うございました。早速購入の手配をいたしました。

沢山の写真をアルバムに載せて皆さんに見て頂きたいのですが、その一部を投稿させて頂きます。管理人さんにお手数を掛けますが宜しくお願いします。

美味しかったカニキノ

投稿者：森本 寛之 投稿日：2007 年 11 月 11 日(日)17 時 23 分 12 秒

10 日、11 日のカニキノ会に参加させていただきました。
つい 2 時間ほど前に家について、早速その足で台所へ向かい、
浜坂の松葉ガニを塩茹でして食べました。

昨晩も焼きガニなどを頂いたのですが、
限定版の香住鶴を飲んで完全に酔っ払っており、
あんまり味をかみ締めてなかったような気がします。
今日改めて茹でたてのカニをホカホカのご飯と一緒に食べて
"うむ、おいしいなあ"と、つい 1 匹丸まる 10 分ほどで平らげてしまいました。

松葉ガニを食べている間にセコガニも茹でたので、
今晚家族らに分け与えようと思っています（笑）

キノコ狩りも、今年はナメコを沢山仕入れることができました。
といっても自分等で見つけたのは雀の涙ほどで、
大多数は山本先生が見つけたものでしたが・・・。

今年で現役最後ですが、来年以降も出来る限り参加したいな、
と思っております。
運転してくださった武田会長、
キノコ取りを指南してくださった山本先生
その他お世話になったみなさん、どうもありがとうございました。

凍傷とは知らず失礼しました

投稿者：南井英弘（K G A C） 投稿日：2007 年 11 月 11 日(日)11 時 05 分 36 秒

ヤラピーク登頂のニュースを知り手放しで喜んでいましたが、軽いとはいえ凍傷になられたことを知り驚いています。

ご承知かと思いますが参考までに下記 2 点ご紹介いたします。

1. 今年 3 月、山と溪谷社発行「感謝されない医者、ある凍傷 D r . のモノローグ」
金田正樹著。

山野井ご夫妻など実名で沢山の凍傷患者の症例など説明あり、対処方法など実用的です。02 年、私自身が足指など凍傷にやられたときにお世話になっています。

2. 山と溪谷社から数年前に発行、「凍る体ー低体温症の恐怖」舟木上総（上総）著
著者は当時、北大の医学生、モンブランでスキー下山中にクレバスに落ち込み、意識を失いながら翌日救援隊たちによって救助された。意識はなく全身凍りつき凍死状態から、フランスの凍傷医達の懸命な処置によって生還し、現在北大の医師をされている。
壮烈なりハビリ物語ですが、今後万一、自分が或いは同行者が凍傷にやられたときに、役立つヒントが沢山あります。読みかけると引き込まれて最後まで読んでしまいました。

楽しかったランタン

投稿者 : kannroku 投稿日 : 2007 年 11 月 9 日(金)20 時 30 分 21 秒

楽しかったランタントレック

緑豊かなランタン谷は確かにすばらしかった。最終ロッジ地キャンジンゴンパのベッドから見たランタン・リルンに圧倒される。雪煙をあげての雪崩の音、近づきたい。

2 日のテント生活で 5520m のヤラピークに。高山病を乗り越ったと思ったら思いもよらず落とし穴に。下山後足の凍傷に気づく。柏・森本の両人が。

柏君のヤラピークに登った嬉しい顔を見ているとホットした。現役の夢がかなった本当に嬉しい顔だった。

気心のわかった友の心あたたまるつながりを、垣間見たトレッキングでした。小西リーダーと共にした青木さん・柏君の面倒を最後まで見た塩・Donnkichi 両君、皆様に感謝。

(今日凍傷の 3 回目の治療に行きましたがもう心配無しの診断でした。また二谷さんより市大のランタン・リルン報告書借りましたので適時読んでください。トレッキングとかせねて読んだらおもしろそうです。) 追記柏さんの写真には負けました。投稿お願いいたします。

中村さん

投稿者 : 大森 投稿日 : 2007 年 11 月 7 日(水)22 時 14 分 11 秒

パーティで同席の同志社 O B 氏は 乾 好氏。

事故のことは同志社のホームページに記述がありました。

http://www.dac-ob.com/operation/archives/2006/10/post_29.html

「昭和 26 年 6 月、大冷沢の「トメ岩」(雪崩は、この岩でトメるという意味)の常識を超えた雪崩の、ものすごい「デブリ」から・・・」とあります。

伊藤さん・越田さん情報をありがとうございます。

中村さんをネットで検索すると、

<http://www.nakabun.co.jp/senryo/pc/search/pages/nakatada.html>

に行き当たりました。

チュウさんの弟さん

投稿者 : 伊藤五介 投稿日 : 2007 年 11 月 7 日(水)21 時 38 分 32 秒

越田君ご指名により書き込みします

遭難されたのは昭和 26 年ですか 小生在学中のような気がしてましたが記憶はあてになりませんね

(我々は学制改革で昭和 24 年旧制一年で放り出されました)

我が家にあった兄新一のピッケルをチュウさんにお貸していました 小生は大学受験もありピッケル使うような山へ行かれないので と言った事だったと思います そのピッケルを弟さんが持って行かれて遭難されたと聞いております

中村忠雄先輩のこと

投稿者 : 越田和男 投稿日 : 2007 年 11 月 6 日(火)23 時 14 分 17 秒

大森君へ

小生の記憶では中村チュウさんの弟さんが鹿島で亡くなられたとのことでした。中村さんは最近殆ど甲南の会に出てこられませんが、甲南の昭和 32 年の剣での遭難事故の直後には山岳会の集会に度々顔を出されており、捜索活動での二重遭難の可能性につき強く発言されていたとのこと。弟さんの遭難に関連してのことだと思います。

その辺のことは小生よりはガチャさん、或いはもう少し上の方ゴスケさんあたりの方が正確にご存知かと思いますが、大冷沢の遭難慰霊碑の前で涙を流されていたという話も、どなたかからお聞きした覚えがあります。同志社と甲南を結びつける歴史のひとつでもあり、是非どなたか補足をお願いします。

チベット・ヤラピーク

投稿者：N 川 投稿日：2007 年 11 月 6 日(火)22 時 02 分 2 秒

仙人さまご無沙汰しております。私最近チベットからネパールのランタン谷方面に旅をしまいいりました。ただ最近記憶力が衰えまして、横文字の地名や写真がなかなか結びにくくおまけに写真を撮り過ぎ整理に苦労しております。但しご一緒した方々がまもなく、詳しく報告をされると思います。それまで暫くお待ちください。

クビカンリ報告会

投稿者：大森雅宏 投稿日：2007 年 11 月 6 日(火)21 時 36 分 7 秒

日曜日、同志社・日本山岳会関西支部のクビカンリ報告会に行ってきました。

初ヒマラヤの学生たちを全員登頂させた、隊長・登攀隊長の「ベクトルを纏める技量」に感じ入りました。学生諸君はヒマラヤの頂だけではなく人と人との繋がり、いい仲間を得たものと思います。

ところで、パーティの同じテーブルの方のお話。

昭和 26 年 6 月、鹿島の大冷沢で同志社の山岳部が遭難されたとのこと、その時中村さんというメンバーのご遺族に甲南の方が居られたような記憶がある、とのこと。旧制 23 回に同姓の方がおいでですが、詳しいことをご存知の方、いらっしゃいますか。

心配しておられました

投稿者：大室仙人 投稿日：2007 年 11 月 6 日(火)20 時 59 分 7 秒

ゆうさんがヒョコット伊豆山中の吾が草庵に

お見えになりました

二晩伊豆の温泉につかり、山麓のお話を聞かせていただきました

最近ヒマラヤ方面から帰ってきたはずの山友から

「うんともすんとも、ゆうてこないのやわ！」と

えらいご心配の様子でした

塩さん、なんか知っていたら

ゆうさんにゆうてあげてください

どんきち君の話も聞かせてもらいました

会いたいもんです

元気になっていますか？

井上さん、ご苦労様です
同姓でも、出来の悪いほうの井上です
会費払いたいのですが
払い込み先をお知らせいただいた便りを
愚妻が朝餉の竈にくべてしまい、わからなくなっていました
メールで教えてください

先日、山を下りてカリブの海に遊んだ際
乗り込んだ船の中に
クライミングの壁がありビックリしました



Re: カニキノの会

投稿者：管理人 投稿日：2007 年 11 月 5 日(月)16 時 05 分 21 秒

> [No.172\[元記事へ\]](#)

カンさん浪川君塩の三人は 6 時 15 分芦屋発で走ります。
少し遅れるかもしれませんが宜しく頼みます。

カニキノの会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007 年 11 月 4 日(日)21 時 50 分 32 秒

今日、クビカンリ報告会に行ってきました。
写真を見ていると行きたくてきますね。

谷君良い経験でしたね。とにかく無事でなにより。

カニキノコに参加をお聞きしているのは、
キノコ狩りに、武田さん、塩崎さん、森本さん、浪川さん、私のOB5名。
森本君、谷君、奥田君の現役3名。
カニ鍋から、大森さん。
計9名で間違いないでしょうか。
他に参加される方がおられましたら、お知らせください。

11月10日10:00に、畑が平駐車場集合。
キノコ狩り、温泉、買出し、カニキノコ鍋、車中泊。
場所は白馬公園です。浜坂温泉保養荘のすぐ下。
<http://www.hwc.or.jp/hamasaka/info/koutu.htm>

11日は競り市。
もうキノコのベテランメンバーばかりなので、必要なものを適当に。
カニ持ち帰り用に発泡スチロール箱をスーパーかどこかで貰っておくと便利です。
現役は細かいことは谷君に聞いてください。
調理バサミだけは忘れないように、忘れると焼きガニで出遅れます。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2007年11月4日(日)06時42分8秒

井上知三君から秋の集会の写真が届きました。
アルバムにUPしました。

カニキノコ

投稿者：浪川 純吉 投稿日：2007年11月3日(土)18時20分24秒

10.11日カニキノコに森本さんも一緒にキノコ狩から参加します。宜しくお願いします。

誤り、訂正します。

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2007年11月1日(木)15時20分8秒

佐野源一先輩ありがとうございます。

山岳会通信第62号の拙稿に誤りあり、今回佐野源一さんから

ご指摘受け、以下2ヶ所、つぎのように訂正いたします。

p25.。昭和9年、赤がりで、検挙、拘束された山岳部員、7名は約30日の拘束で釈放されてます。
その間、柔道道場で、旧制甲南の先輩達は、警官から、かわいがりをうけ、かなり痛めつけられました。平生
校長が、警察局長に直談判し、無事釈放されてます。つまり留年はなく、先に書いた1年後復学は誤りで

す。当時経済界の重鎮であった平生氏には、警察局長も頭があがらなかったのです。

p 34. 。北尾根登攀後、たどり着いた徳沢小屋にいた、中畠政太郎「56歳」は、小屋主ではありません。小屋持主は上条 喜藤次「島々」です。

彼はカモシカの密猟で、徳沢小屋に居たのです。

戦前、穂高小屋が消失した時、お客（旦那衆の）の不注意による失火を秘し、ワシの責任と言い張った、中畠の狭気に感じた信濃の山人は、飛騨人・中畠の小屋への出入りを大目に見ていたのです。

小川さんと中畠は初対面だったが、先輩喜多 又太郎、奥山 正雄と縁あった、中畠は、甲南隊の下山を喜び、（水、水）とさげんだ、小川さん達に、梓川の氷を割って水を汲み、ついでにて手づかみの岩魚を振舞ってます。

なお、びっくり！福井 亨さんは、北尾根で初めて、アイゼンをつけたそうです。

さらに、間違い2ヶ所。これは佐野さんの指摘ではありません。

すみません、本当に。

p 27. アイガー北壁・直登の期間は、8週間でなく、5週間です。

p 29. イエジ・ククチカの頂。メスナーが16年かかったー間違いー17年が正しい。

Re: 大歓迎です

投稿者：森本 寛之 投稿日：2007年10月31日(水)23時26分33秒

> [No.167\[元記事へ\]](#)

武田会長から連絡を頂き、現役もカニキノコ会に参加させていただくことになりました！

よろしくお願いします。

現役からは森本と谷、2年の奥田の合計3名となる予定です。

大歓迎です

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007年10月31日(水)22時53分47秒

塩崎さん、今年はカニキノコにご一緒していただけるとの事、楽しみにしています。

キノコ狩りからご参加でしょうか、カニ鍋からのご参加でしょうか。

もしカニ鍋からのご参加の場合、一昨年と場所が違いますのでご注意ください。

キノコ狩りからのご参加の場合は一緒に動けるので問題ないと思います。

他に参加される方はおられますでしょうか。

Re: カニキノコ下見

投稿者：塩崎将美 投稿日：2007年10月31日(水)20時31分54秒

> [No.161\[元記事へ\]](#)

去年はカトマンズでカニ食いたい食いたいでしたが今年は参加させていただきます。

食べるぞカニカニカニ。

宜しく

写真のUP

投稿者：塩崎将美 投稿日：2007年10月31日(水)20時27分16秒

山本恵昭君の別山の写真をアルバムにUPしました。

本日・無事帰国致しました。

投稿者：現役 谷 勇輝 投稿日：2007年10月31日(水)12時37分3秒

本日、早朝無事に、バンコクを経由しカトマンドゥより帰国いたしましたことをご報告いたします。
この時期のキャンセル待ちのチケットは思いのほか入手困難でした。結局、空港関係者へ\$150-支払い何とかチケットを入手。手痛い出費でしたが・・・

カトマンドゥでは塩崎さんをはじめ、森本さん、柏さん、浪川さん関学OBの方々には大変ご馳走になりました。

また前記の武田さんの投稿文（海外遠征支援募金報告）について、

この度は、「甲南大山岳部」の名前が前面に出るような登山隊ではなかったものの、旧制、新制、新高の諸先輩から、たくさんのご寄付をいただいた事、感謝の気持ちでいっぱいです。

重ね重ねお礼申し上げます。

追記

カトマンドゥ滞在中に西濱さんにも色々とお世話していただきました。仕事、その他多忙の中、有難う御座いました。

来月？から半年間、日本へ一時帰国されるという事で、どこか一緒に山に行けたらと思っています。

谷 勇輝

<http://doushishasangaku.kitunebi.com/>

海外遠征支援募金報告

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007年10月30日(火)20時26分6秒

本日郵貯口座を確認しましたところ、9月27日に 高橋けい子様より送金頂いた事を確認致しました。
これにより、61名・120口のご寄付を頂いた事となりましたのでここに追加ご報告申し上げます。

お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007年10月30日(火)00時45分32秒

兵庫県山岳連盟より恒例の「講演と山の映画の夕べ」開催の案内が有りました。

1. 日時 平成19年11月15日（木）PM6：30開演

2. 会場 王子動物園ホール（神戸市灘区王子町3-1 動物園東側）
 3. お話し「西チベットの現状」城 隆嗣 氏（日本山岳協会副会長）
 4. 映画「西チベット」
 5. 抽選会 アウトドア用品の当たる抽選会
 6. 入場券 前売り券 500円
- 前売券の必要な方は、本掲示板ないし武田あてテレ・ファクスにて申し込みください。

カニキノ下見

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007年10月29日(月)01時09分21秒

今日、カニキノの会の下見に行ってきました。扇の山の林道は、山側路肩に岩が転がっているところがありましたが、通行は問題なし。6時頃から2時までブナ林を徘徊してきました。

地元の人がいわく、「2週間ほどキノコの出方が遅れている」そうです。確かに、今の時期、朽ち果てているはずのツキヨタケがいっぱいあり、ナメコ、ムキタケはほとんど無し。ナラタケがもうリュックに入りきれないくらい沢山採れました。

浜坂のキャンプ場より、去年の公園のほうが雰囲気が良さそうです。昨年行った公園でやろうと思います。白馬公園、浜坂温泉保養荘のすぐ下。

<http://www.hwc.or.jp/hamasaka/info/koutu.htm>

宴会に直接参加の方は、浜坂温泉保養荘の案内地図を参考にしてください。

29日帰国

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2007年10月27日(土)20時52分33秒

武田さんへ

関係各所への働きかけ、大変感謝しております。

どうも、有難う御座いました。

明日28日に出国して、翌日29日に帰国する予定です。

実は19日からタイ航空のチケットのキャンセル待ちをしていたのですが、一向に取れる兆しがありません。

その為、明日28日、直接タイ航空のカウンターで交渉して、チケットをとりたいと思います。

うまく行けば29日には帰国できそうです。

取り急ぎご連絡までに。

tani

今秋の山の本2冊

投稿者：越田和男 投稿日：2007年10月27日(土)12時40分13秒

① 大森久雄著「山の旅 本の旅」

平凡社 定価 2 2 0 0 円

深田久弥「百名山」の生みの親、大森さんのエッセイ集。副題に「登る歓び、読む愉しみ」とある。山岳書出版の動向、百名山がらみの話、欧州アルプス紀行など軽妙な筆致。これまで登るばかりだったけど、これからは山の本でも読んで見ようかな、と思っている人にもお勧めです。

② A.F.ママリー 著 海津正彦訳

「アルプス・コーカサス登攀記」

東京新聞出版局 定価 2 3 8 1 円

前々世紀末、ナンガパルバットで行方を絶ったママリー（昔はマンメリーといったました）の残した不朽の名著「My Climbs in the Alps and Caucasus」（1895 年）の新訳。戦前に出された旧訳には無かったナンガ遠征先から妻に宛てた手紙も興味深く、また原書にない地図や概念図が適所に追加されており、読みやすくなっている。クライマーであり、現在山岳書の翻訳の第一人者である海津さんのこなれた訳になる本書は原著を凌ぐとの評判。

この 2 冊、装丁がいずれもクライマーでありブックデザイナーの小泉弘氏。惚れ惚れするような出来映えです。最近場所をとる単行本を買うのを出来るだけひかえて、文庫本しか買わないようにしてましたが、是非書架に飾りたく購入した次第。値段も②は特に安い。

お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007 年 10 月 26 日(金)15 時 14 分 49 秒

先の谷君初登頂成功の山岳会公式報告はカトマンズ帰着後に行うべしの所、同君が引き続きエベレスト街道のトレッキングに出掛けた為、再度帰着するまで手控えておりましたので各位にはご了承下さい。

10 月 19 日付弊信「ご報告」にたいし、甲南大学学長 杉村芳美殿より早速丁寧な返書戴きましたのでここに一部を抜粋転載させて頂きます。

「今回の谷君の登頂成功は、まさしく快挙であり、甲南大学にとってもきわめて意義あることと受けとめています」

「快挙を新聞報道にて知り思わず、家族に大声で教え喜び合いました。――早速広報部に伝達し、大学のホームページで広く告知するように申した次第です。」

「遠征にあたっての長期かつ慎重万端の準備活動を知るにつけ、あらためて感心しますとともに、休学を決意しての参加に彼の心の強さを見る思いです。」

「オール甲南山岳部OBのみなさまのあつい支援がありましたことに、心より感謝とお礼を申し上げます。」

「学長顕彰をもって賞する準備を進めさせています。私たちの称賛と喜びの気持ちが広く伝わることを願っております。」

大森さん、「山岳寮」ありがとう

投稿者：福田信三 投稿日：2007年10月26日(金)09時41分14秒

大森さん、「山岳寮」いただきました。読むたびに会員の山への思いが、感じられます。そして、その端くれにいる自分は幸いと思っています。
書中、「会員短信」、「ホームページから」は皆様の動きが見え、楽しく読ませていただきました。これ等の項目の表紙インデックスへの記載があれば、尚良し？ 編集の苦勞も考えず勝手なこと、失礼しました。
今後よろしくお願いいたします。昨日ベトナムから戻り、御礼が遅れ失礼いたしました。

お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007年10月25日(木)15時04分25秒

現役谷君のクビ・カンリ初登頂に関し、休学中の部活動は認め無いとの大学当局の見解がありますが、去る19日付にて書簡「ご報告」を下記宛に山岳会会長名にて出状致しました。

宛先：甲南大学学長 杉村芳美殿、同学生部長 前田忠弘殿

写：甲南学園広報部長 葉袋真人殿、摂津会会長 水野正人殿、スポーツ強化支援室長 青山義孝殿、山岳部顧問（EBA総合コース教授）西川耕平殿

主たる内容は

- 1) 甲南大学山岳部始まって以来の快挙である。
- 2) 学生中心の遠征隊成功として朝日・毎日・読売・京都の各紙に取り上げられた。
- 3) 高所順応トレーニング等を含む準備活動に万全を期する為に止むを得ず休学を決意。
- 4) 旧制高校・大学・新制高校のオール甲南山岳部 OB が遠征支援の募金に応じた。

お手数掛けました

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007年10月25日(木)08時25分35秒

大森兄、先ほど江田君と連絡取れました。
甲南大体育会本部のサイトを見ていて、江田君が当本部の副委員長をしている事を思い出したのが、キッカケです。各部の戦績記録が出ており、山岳部も谷君の快挙を広く学内で知って貰ったら、と思った訳です。
彼が帰国後、インタビューのプランがあるそうで、楽しみです。廣瀬

ノーチラス号の冒険・7

投稿者：越田和男 投稿日：2007年10月24日(水)21時17分30秒

岳友平井の訳業順調に発行されてます。前号からちょっと間が空きましたが、このたび下記発行されました。
お楽しみ下さい。

ヴォルフガング・ホーバイン著 平井吉夫訳

ノーチラス号の冒険・7 「石と化す疫病」

創元社 定価 952円

老年隊の快挙を祝す

投稿者：越田和男 投稿日：2007年10月24日(水)21時09分0秒

関学、甲南合同老年隊の遠征の成功めでたし。世界で最も美しいといはれているランタンへの旅を、気心の知れた仲間と存分に楽しめたことでしょう。

ヤラピークへの登頂はおまけみたいなものかなと思ってましたが、塩崎の報告ではかなり難儀したみたいですね。

年甲斐も無くちょっと無理したんとちゃいますか。

写真、土産話など楽しみにしてます。

廣瀬様

投稿者：大森雅宏 投稿日：2007年10月24日(水)19時48分37秒

> [No.151\[元記事へ\]](#)

江田君の掲出内容、先ほど廣瀬様あてメールで送信しました。

ご確認ください。

Re: 廣瀬様・江田君

投稿者：江田和則 投稿日：2007年10月24日(水)16時47分38秒

> [No.150\[元記事へ\]](#)

お心遣いありがとうございます。

廣瀬様・江田君

投稿者：大森 投稿日：2007年10月24日(水)12時49分26秒

電話番号ほか個人情報が出ると、いたずらのターゲットにされることも。

お節介ですが、掲示板から下ろしておきます。

廣瀬さんへは後ほど

(本日の夜・今すぐではありません・念のため)

メールでお送りしますのでそちらをご覧ください。

アルバムでは役に立たなかった 管理人代理 おーもり

ヤラピーク、5000mオーバーの山ですね。すごいなあ。

来年の山嶽寮の原稿、おまちしてまーす。

ヤラピーク登頂おめでとうございます

投稿者：南井英弘（K G A C） 投稿日：2007年10月24日(水)11時06分42秒

ヤラピーク登山隊の皆様

塩崎将美様からのヤラピーク登頂の知らせに心からお祝い申し上げます。

元気に帰国され、お話を伺いするのを楽しみにしています

無事下山

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007 年 10 月 23 日(火)22 時 32 分 25 秒

目標達成無事下山、良かった良かった。登頂の日眺望が素晴らしかった由何より、土産話を楽しみにしています。

無事下山しました

投稿者：塩崎将美 投稿日：2007 年 10 月 23 日(火)20 時 41 分 19 秒

B C に入る日の朝は晴天ではないもののまああの天気でしたが途中から吹雪でかなりひどい目に合いました。どうなる事かと心配しましたがその後天気は安定し快晴が続きました。アタックは膝下の新雪、勿論ガイドがトップでラッセルしてくれるのですがアイゼン利かずユマールを頼りに登るも足がズルズル、後ろのガイドをセカンドに入れガイド二人にステップを作らし何とかヤラピークに登頂することが出来ました。頂上では視界良くチベット国境向こうのシシャパンマ、勿論ランタンリルン、まわりの山々の眺めは素晴らしいものでした。

昨日無事カトマンズに帰り着きました。

色々なハッピングがありました。それは帰国後ゆっくり報告出来ると思います。

掲示板で現役谷君がいまだカトマンズに居ることを知りました。今から連絡し食事でも一緒に楽しみたいと思います。

塩崎

KACの先輩

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007 年 10 月 22 日(月)08 時 35 分 13 秒

先だつての木曾駒集いの帰り、柳沢さんに、中井久夫先生の事を訊きました。リュウさん、答えて曰く「頭の良さは、ずば抜けとった。ナンセ理解出来ないとか、覚えられないと言う事じたい、理解出来ないのやから。」

わが国の整形外科分野の泰斗であった津山直一先輩も凄い方です。確か一時期 K A C 名簿にお名前が載ってたはず。(越シン、ちやいますか、茂木光隆さんと同期) 津山先生は昨年、惜しまれて他界されました。小平の長男が文化大革命の際、屋上から突き落とされ、大怪我を負った。此の時、この息子の整形手術とリハビリに腕を振るわれた。小川アヒル先輩に依ると、結構アルプスの合宿に参加されてたらしいです。又の機会に先生の著書他を書きたいと思います。

お詫び

投稿者：管理人代理 大森 投稿日：2007 年 10 月 22 日(月)01 時 19 分 28 秒

アルバムの更新中、不具合が発生いたしました。

ほかのページはきちんと動いているようですが、アルバムの大きな写真が出てきません。

しばらくご不自由をおかけしますが、あしからずご了承ください。

秋の陽はつるべ落とし

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007年10月21日(日)20時13分49秒

今日、午後から急に時間が出来たので、急遽バイクで1時間。某山某所松林で、久しくお目にかかっていないM君探し。残念ながら気まぐれM君には出会えず、同じ松林がお好きなAさんを少々持ち帰り。今夜の味噌汁で紫色に変身、美味しかったです。

M君探しに松林を徘徊していると、いつの間にやら辺りが薄暗くなってきて、あわてて地図と磁石をフル活用。なんとか登山道まで這い出てきました。陽が傾くとあつという間に夕暮れ、ちょっとあせりました。いつの間にか、秋ですね。あの夏の暑さはどこに行ったのでしょうか。

谷君のカトマンズ帰着を祝いたし

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007年10月20日(土)06時47分11秒

遠征成功後のトレッキングで、事が起こっては大変だと、気にしてました。これ、年よりの杞憂に終わり、大慶至極なり。

現役部員ヒマラヤ初登頂の快挙

投稿者：越田和男 投稿日：2007年10月19日(金)23時16分42秒

本日東京甲南会の評議員会があり、学園理事長の吉沢氏および水野会長(学園理事)に話す機会がありましたので、現役谷君のこのたびの快挙をPRしておきました。休学中の部活動への学園関係機関の消極的態度にも不満の意と、旧制高校、大学、新制高校の山岳部のOBが支援に積極的に応じたことも伝えました。少しはご理解得られたかなと思います。

トレッキング無事終了

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2007年10月19日(金)18時46分56秒

谷です。ナムチェでのトレッキングを無事終え、本日早朝カトマンズに戻ってきました。

案の定、キャンセル待ちのチケットは取れておらず、1週間?程カトマンズに滞在することになりそうです。

トレッキングでは、名だたる高峰に迎え入れられ、毎日が充実した日々でした。けれど、上部にあがるほど水・食べ物の値段が上がり、粗食な日々でしたが。。

今まさにネパールではダサイン（ネパール最大のお祭り）の真っ盛り。ネパールライフを満喫していきます。

それではご連絡までに。

追伸

- ・おそらく、塩崎さんグループともカトマンズで合流できそうです。
- ・かに・きのこ鍋、今年も是非参加させていただきたいと思います。

カニキノの会

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007 年 10 月 18 日(木)12 時 32 分 45 秒

山本さん嬉しい行事案内アリガトウ／参加しますのでヨロシク／現役を誘ってみます。

11 月 10 日（土） 11 日（日）でした

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007 年 10 月 18 日(木)00 時 50 分 34 秒

すみません。間違えました。

11 月 10 日（土） 11 日（日）ということで、10 日（土） 10 時頃に畑が平駐車場集合でお願いします。

Re: カニキノの会

投稿者：大森雅宏 投稿日：2007 年 10 月 17 日(水)23 時 15 分 15 秒

> [No.135\[元記事へ\]](#)

かに・きのこ。事情で部分参加。きのこの部欠席、かにの部出席の見込みです。

ところで

手元のカレンダーでは、11 月 11 日が日曜。このごろ疲れ気味で見間違えていたらすみません。

しかし、11/10・11/11 が土日やと、思うんですが・・

カニキノの会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007 年 10 月 17 日(水)22 時 55 分 0 秒

今年のカニキノの会、11 月 11 日（土） 12 日（日）の予定で考えています。

一昨年までの浜坂県民ビーチのキャンプ場と昨年暴風を避けて行った公園とでまだ迷っていますが、時間が出来れば下見に行き決めます。

例年のように、私は前夜発で早朝キノコ探しの予定。

キノコ採りされる方は、11 日（土） 10 時頃に畑が平駐車場集合で散策採取。その後、温泉、買出し、鍋パーティ。宴会のみ参加の方は、夕方浜坂へ。

翌 12 日は、カニ祭り市へ。

参加希望の方は、掲示板等でご連絡ください。

秋の集会

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007 年 10 月 13 日(土)07 時 27 分 40 秒

宴会に遅れてしまい、皆さんと充分歓談できず失礼しました。

霊峰荒島岳にリュウさん、オトミサンの御蔭で登れて良かったです。

鈴木先輩には長時間のドライブで、大変お世話になりました。

同行の麻畠先輩の宗教家振りに、感銘しました。山頂で相当数の仏像を見つけたと、

非常に喜んで居られました。キット充分に供養をされ、充実感に浸られた

事でしょう。

KGAC KAC登山隊

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007年10月13日(土)07時15分13秒

関学OB南井氏のメッセージを見させて頂いて、両校OBが和気あいあい
とやっている様子が伺え、大変嬉しく存じます。ついで乍ら、KGACには甲東小学校
同期の松山威作君が居ります（彼とはS34頃の夏山剣岳合宿の際、出会った気がします。
機会あれば、歓談したいものです。）

ヤラピーク登山隊元気に出発

投稿者：南井英弘（KGAC） 投稿日：2007年10月12日(金)20時32分23秒

甲南・関学ヤラピーク登山隊ご一行は10月11日早朝、車で現地に出発いたしました。
その前日、カトマンズで会合や昼食をともにいたしましたが全員すこぶる食欲旺盛、健康、意気盛んで盛り上
がっていました。
なお、私達のチョー・オユに同行し、登頂した強力なシェルパが3人同行しています。登頂は間違いないと確
信しています。
また、私自身3年連続高峰への登頂は果たせませんでしたが、皆さんから「無事下山した事を祝う」としてご
馳走になりました事をこの場をお借りして御礼申し上げます。

秋の集会

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2007年10月12日(金)20時05分20秒

秋の集会お世話になりました。朝5時に起き6時から荒島岳を登り10時50分頂上、14時30分
下山、高山祭に遭遇、20時駒王に到着しました、大変皆さんにご迷惑をおかけしました、お詫び申し上げ
す。井上智三さんには大変感謝しています。

杉峠（h・1350m）

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2007年10月10日(水)14時31分52秒

越田、飯田たちが、懐かしむ、杉峠は、石川県の市ノ瀬から
福井県の鳩が湯に至る“モノズキ”しかいかぬ峠であります。
2001年6月、雨宮、鳥居、武田、二谷の4人で、三の峰に登ったとき、かねて聞いていた30年以上も
前に越田、飯田たちが、
越えた峠に興味わき、三の峰から下山中、避難小屋〔立派です〕から、西に、西に、鳩が湯新道をたどれ
ば、杉峠に達すると
一瞬考えましたが、新道とは、名ばかりの踏み跡不明瞭な、
ウツシイ道で、同行の3人に話する気うせ素直に小六池に下りました。
時はアルピニズムとやらが、まさかり、
若い越田、飯田くん達の、ロマンを感じず、杉峠！！
その名前はちょうど2日前、小生山荘で話題となったばかりです。
最後に蚤のおまけつきと、ご苦労さまでした。

国土。5 万分の 1。(越前勝山)
杉峠～鳩が湯は道なしになってますが、あります。

Re: 懐かしの杉峠と鳩ヶ湯

投稿者：越田和男 投稿日：2007 年 10 月 10 日(水)11 時 04 分 36 秒

> [No.128\[元記事へ\]](#)

昭和 3 5 年の間違いでした。

懐かしの杉峠と鳩ヶ湯

投稿者：越田和男 投稿日：2007 年 10 月 10 日(水)10 時 37 分 21 秒

この話題偶然にも先日雨さん達との談笑中話題にしたところ。結構深いラッセルだったのと、ノミの痒さが思い出されます。昭和 3 1 年 1 1 月、藤安、飯田、長谷川の諸兄が一緒に愉快的な山行でした。

あの時、温泉が枯れていたのではなく、夏だけだといわれてがっかりしたという記憶があります。Yahoo で検索したら出てきました。写真もあってどうやら当時のままのようです。ご覧あれ。

<http://www.biwako.ne.jp/~kimken/onsen-fukui-hatogayu.html>

鳩ヶ湯

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007 年 10 月 10 日(水)01 時 24 分 39 秒

飯田様

有難うございます。骨はもうつながりました。ただ手首と指の間接がまだ変な感じで、角度によって痛みが走ります。ザイルを使うようなところはまだ行けそうに有りません。

鳩ヶ湯の写真ですが、残念ながら撮っておりません。確かに山小屋のような趣のある古い宿でした。

避難小屋で一緒だった福井のおばちゃんたちの話では、先代のおじいさんはかなり偏屈な人だったそうですが、今は息子さんが中心になってやっておられて、感じの良い宿になったそうです。温泉（鉱泉）は実際には温度が低いので加熱しているそうです。

4 ～ 5 人でいっぱいになる感じの小さなお風呂でしたが、私が入ったときは貸切でした。

最近、市ノ瀬から杉峠への道が整備されたそうですが、このコース経由で結構遅くに避難小屋にたどりついたおじいさんの話しでは、笹藪も多く思いのほか時間がかかったそうです。六本檜からの道はよく整備されていました。

紅葉の時期には、刈込池周辺はとても美しいそうです。再訪されてはいかがでしょう。

鳩が湯

投稿者：飯田 進 投稿日：2007 年 10 月 9 日(火)07 時 39 分 50 秒

山本君 もう骨のほうは完治ですか。

貴兄の投稿に、鳩が湯 5 0 0 円 と書いてますが。写真あったら掲載してもらえませんか。というのは、現

役のころ、11月末に、一の瀬から白山めざしたのですが、前夜から雨。それが雪に変わり、雪崩の恐れがでてきたので、方針変更。杉峠（先年関学のワングルが難渋したすぐそば）をこえて鳩が湯目指しました。着いたら湯はすでに涸れていて、山小屋のような宿で、一晚ノミに悩まされた記憶があります。その湯が復活したのかしら。

写真あれば見たいものです。

谷君、無事のご帰還、良かったね

投稿者：フクダシンゾウ 投稿日：2007年10月8日(月)18時38分20秒

カトマンドゥまで来れば帰ったも同然。更に、エベレスト街道とはかなりの山好きだね。

塩崎君達との出会いで呑み過ぎないよう。今回の遠征の大成功、良かったね。

ゆっくりおやりください

投稿者：フクダシンゾウ 投稿日：2007年10月8日(月)18時32分33秒

大森さん、

あわてないでだいじょうぶ。多分命には関係ないでしょう。

編集でのバカ、皆さん温かい目で見てくださいますでしょう。

忙しい仕事の合間を縫っての編集、感謝のいたりです。

リハビリ登山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2007年10月8日(月)09時12分55秒

私もカトマンドゥに飛んで行きたい所ですが、そういうわけにもいかない。申し訳ありませんが秋の集会を失礼して、三の峰・別山へ骨折後初めてのリハビリ登山に行ってきました。

5日、職場から帰宅してとりあえず荷物を車に詰込み12時過ぎに出発、仮眠しながら上小池駐車場へ。

6日7:00発、ブナ林を登って六本檜へ1時間、急な稜線を2時間で10:00三の峰避難小屋へ。泊まり荷物を置いて、別山山頂12:00。山頂付近の草原はそろそろ紅葉の始まり。天気も良く1時間ほどのんびり。御岳から乗鞍、穂高、薬師、剣まで見渡せる。そういえば信州のいろんな山頂からも白山が見えたような。14:00三の峰避難小屋へ戻って、またまたのんびり。貸切かと思ったら、次々と登ってきて、結局8人。

それにしても山深いところである。経ヶ岳・赤兎から続く尾根と、野伏岳から続く尾根が合わさり、この三の峰を経て白山へ続いていく。どこを見ても山の連なり。稜線にある小屋からの夕日が美しかった。

7日、期待していた朝日はガスで残念。同宿の方々は早朝より別山方面へ、私はのんびり7:00から下山。ずっと下れば2時間ほどで車まで降りれそうだが、せつかなので、道から外れてブナ林徘徊。惚れ惚れするような森である。刈込池散策もして12:00上小池駐車場へ。鳩ヶ湯¥500で汗を流し、おろしそば大盛¥750。大野市のいつものスーパーで焼き鯖すしを買おうと思ったら、売り切れていてショック。通勤割引、湖西道路、早朝夜間割引で帰って来ました。

手首はだいたい良いのですが、運動不足で全身筋肉痛です。

祝杯

投稿者：塩崎将美 投稿日：2007年10月7日(日)18時08分58秒

昨晚現役谷君のクビ・カンリ登頂を祝い西浜君を交え日本食で一杯やりました。

谷君がずいぶんたくましくなっているのに驚きました。

パソコンに取り込んだ写真を見ながらこの辺に登った/ここを懸垂したとの説明を聞きながら飲んだスーパードライ（今年カトマンズに出現）、美味かったです。

次はヤラピーク、チベットで高度順応出来ていると思いますから何とか登りたいと思っています。

カトマンドゥより

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2007 年 10 月 6 日(土)19 時 43 分 12 秒

ナマステ、山岳会の皆さん。お久しぶりです。

10月1日無事にカトマンドゥに戻り、その後隊荷の整理等々がありご挨拶遅くなりました。

まず第一にクビ・カンリに登頂することができてとても嬉しいです！！

これもひとえに山岳会の皆様方の温かいご支援があったからこそ成し得た賜物と思います。

「本当に有難うございました。」

また、ベースキャンプで活動報告（ブログ）を見ていましたら、沢山コメントを書き込んでいただいたのでとても励まされました。

ベースを離れた後、カイルスヘコルラしに行きました。しかし生憎の天気で北面を望むことはできませんでした。

今後の予定ですが、他のメンバーは予定通り10日帰国しますが、私は明日7日から19日までエベレスト街道にトレッキングに行こうと思います。

今、こちらではトレッキングに最適なシーズンですし、せっかくカトマンドゥまで来たので大きなヒマラヤを一目見たいと思ったからです。

期間と行程概要

□ 10月7日～19日（13日間）

□ カトマンドゥ・ルクラ・ナムチェ・タンポचे・ディンボचे⇔チュクン→カラ・パタール／エヴェレストBC→チョラ・ラ→ゴーキョ→ゴーキョ・ピーク→ドーレ→ナムチェ→ルクラ→カトマンドゥ

帰国について、21日からTGのキャンセル待ちをしているのですが、この時期大混雑。

いつ席が空くのかわかりません。遅くとも1週間程と思いますが・・・

それでは、季節の変わり目、皆様お体には十分お気をつけください。

では行ってきます。

T a n i Y u k i
6・O c t K T Mより

山嶽寮 つづき

投稿者：大森雅宏 投稿日：2007年10月5日(金)23時39分36秒

福田さん、暖かに恐れ入ります。

別にどなたからクレームが来たということではないのですが、やはり仕上がりは気になります。

自分が思うほど人様は気にしておられないとは思いますが・・・。

とはいってもしくじりは反省です。実はさっき「えらいこっちゃ」が見つかりました。

井上さん、帰ってこれたらちよっと相談に乗ってください。

どこが間違ったかですか？

それはナイショです。

駒王、にぎやかに楽しくお過ごしになりますよう。

山岳寮の編集など

投稿者：フクダシンゾウ 投稿日：2007年10月5日(金)18時04分5秒

大森さん

何か非常に謙虚なご発言(業務連絡)、傷み入ります。ざつくばらんに、山岳寮の編集、毎年、毎年本当にありがとう御座います。やり続けるということは、なかなかですね。アレヤコレヤ言う人がいたら、“そんなややこしいこと言うんやったら、あんさんやりなはれ”と応えてください。ところで、鮮明な写真は難しいですね。教会でも毎月の会報に写真がありますが、きれいな画像は難しいです。特に、小型の印刷機を使っているの、露出をAの写真に合わせれば、Bがぼけるという具合です。HPにアップした分は、カラーで見易いという皮肉な現象です。

しかし、いろんなことに懲りず、今後もよろしくお願いします。

ナマステ

投稿者：N 川 投稿日：2007年10月5日(金)17時50分4秒

ナマステ、現在カトマンズにおります、26日抛りネパールから陸路チベット入り、本日ラサより2人（塩崎さん）で戻りました、残念ながら解脱に失敗しました。駒王集会の盛況をお祈りしております。

「山嶽寮 業務連絡」

投稿者：大森雅宏 投稿日：2007年10月4日(木)23時03分59秒

山嶽寮関係で「業務連絡」です。

その1 事務局 井上さま

駒王に山嶽寮2部余分にお持ちください。ご寄稿いただいた外部の方ほかへお渡しする分です。越田さんにおことづけください。

その2 編集長 山本さま

来年向けに駒王の報告、簡潔に、かつ雰囲気伝わるように原稿をお願いします。熱心な読者から「写真と参加者だけでは潤いがないではないか」とご意見をいただいております。ここは編集長に潤いのあるところをご披露いただきたく、よろしく。

おまけ 今年も山嶽寮、読むといい出来なんですが、見栄えが悪い。どうもレイアウトと写真の仕上がりが影響しています。もう言われる前に降参しておきます。皆さんすみません来年がんばります。

私、心苦しく駒王欠席しますがこれは所用あるためです。仕上がりの悪さを悲観してではありませんので念の為。

今年もご寄稿の皆様、ありがとうございました。次号もどうぞよろしくお願いします。
遠くネパールでごらんのN様、次号の原稿お待ちしております。

編集担当 大森

Re: 留守にします

投稿者：大森雅宏 投稿日：2007年9月24日(月)10時51分9秒

> No.112[元記事へ]

塩崎様

トレッキング、いいですね。

お留守の間、管理人代理何とか務めます。

ほとんどアルバム関係ですね。

変な書き込みはなくなったので気持ちいいです。

塩崎さん・エヌさん(NというからはナニヌネノですよN川さん)、カンさん・柏さん、いいご旅行を。

話はかわりますが、アメリカ映画で「ハッピーリタイアメント」なんてシーンがあって、何が退職がめでたいのかと、若いころは思っていました。この頃は、なんとなくわかるなという感じです。

ヒマラヤに出かけられる体力と気持ちのゆとりと財布のゆとりと、あと10年で用意しておかなくては。

大森

アブシ試登記

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2007 年 9 月 24 日(月)09 時 55 分 47 秒

谷 勇輝君の報告読みました。クビ・カンリ登頂からの、経験と余裕か、初めての山のルートの様子案内として、きわめて正確であり、
無意味な叙情描写、形容詞で飾られてない、若い人の文章で素晴らしい。
谷君、テントに帰ったのは何時ですか。行動は 11 間くらい、かったたのですか。クビ・カンリが終わって、ひと山終えて、さらに次なる山と
いうのは、大変です。

秋の集会 事務担当より

投稿者：井上 知三 投稿日：2007 年 9 月 23 日(日)17 時 27 分 9 秒

秋の集会の参加締切(9/25)が近づいております。参加希望の方は返信葉書にてご連絡下さい。
尚、現在までの参加者は次の方々です。大関 和夫・石原 浩二・雨宮 宏光・越田 和男・田辺 潤・鈴木 正・安井 正・武田 雄三・砂川 彰雄・廣瀬 健三・柳澤 正・麻畠 重彦・村上 与利一・山本 真博・井上 知三 以上 15 名 敬称略・順不同

留守にします

投稿者：塩崎将美 投稿日：2007 年 9 月 23 日(日)16 時 52 分 0 秒

明日、N 君と(彼は名前を書ってくれるなどの事)関空から出発します。
26 日、カトマンズーラサの飛行機が取れなかった為陸路 7 日かけて中尼道路をラサへ走ります。途中チョモルンマ B C へ寄る予定です。トレッキングと違いジープで急激に高度を上げますから高山病が心配です。

10 月 5 日に飛行機でカトマンズに戻り谷君と祝杯をあげる予定です。
彼の初登頂の話を聞くのが楽しみです。
9 日にはカンさん柏さんと合流しランタン谷へトレッキングに行きます。
帰国は 10 月 26 日の予定。

私が留守の 1 ケ月間、大森君にこの H P の管理を頼んでます。
写真の投稿等何か有りましたら彼に連絡してください。

大森君、宜しく頼みます。

塩崎

米山さん、すごいねー

投稿者：フクダシンゾウ 投稿日：2007 年 9 月 20 日(木)18 時 26 分 7 秒

米山さん、
撮影依頼のお声がかかるなんてすごいですネエ。
そこまですれば趣味の域を超えましたね。

しかし、山と薪能、かなり状況が違いますが、
カメラの目からは同じですか？
そういえば、昨日、摩耶山の穂高湖でバシャンという音に
振り返ると、カワセミが水から飛びあがるところでした。
瑠璃色が目に焼きつきました。ラッキーでした。

次回は是非関西でも、展示会お願いします。

木曽集会

投稿者：米山悦朗 投稿日：2007年9月20日(木)15時58分15秒

井上知三さま
小生出席と連絡しましたが、急に鎌倉市観光協会から薪能の撮影依頼が来て一寸断れないので欠席します。
ご迷惑をかけてすいません。

米山悦朗

クビカンリ初登頂

投稿者：武田 雄三 投稿日：2007年9月18日(火)21時43分22秒

谷君、夢の実現オメデトウ。「初登頂成功」本当に良かった良かった、土産話を楽しみにしています。
残りの日程も十分楽しんで来てください。
遠征をご支援戴いた山岳会の皆様に、あらためて御礼申し上げます。

クビ・カンリ 祝初登頂

投稿者：牧野 宏 投稿日：2007年9月18日(火)11時07分58秒

谷君 おめでとう。
本当に嬉しい、いいニュース、美しい写真に感謝感動。

帰路お気をつけて。

追記

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007年9月18日(火)08時28分44秒

初登頂は幸運だったと記しましたが、千田登攀隊長の「クビ カンリ初登頂記」
を再読すると、相当厳しい状況下での行動だったようです。
優れたリーダーのもと、隊員の皆さんが日頃鍛えし力を発揮、気力を振り絞って
目的を達成された事と思います。敬意を表します。

クビ カンリ初登頂を祝す

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2007年9月18日(火)07時09分49秒

谷君、頑張ったそうですね。はじめての海外遠征で、予定通り登れたのは幸運。
これも貴兄の普段の努力の賜物でしょう。又、和田氏、千田氏という
凄い登山家に率いられて行動でき、学ぶ点多かった筈。現役の山岳部員達と未踏峰に登れた事、良かった、
御同慶の至り。カトマンズに戻るまで、アクシデントに遭遇せぬように。元気に
帰着して、カトマンズで森本カンロク兄達と存分に祝杯をあげてください。

クビカンリ初登頂

投稿者：フクダシンゾウ 投稿日：2007年 9月 17日(月)20時 46分 23秒

谷君そして隊員の皆様、クビ・カンリ初登頂、おめでとう御座います、
と共に今までの努力が上手く実って良かったね。
くそ暑い関西にチベット涼風を感じました。
日本に帰るまで、気をつけて

Re: クビ・カンリ登頂

投稿者：越田和男 投稿日：2007年 9月 17日(月)14時 43分 41秒

> [No.103\[元記事へ\]](#)

遠征隊のHPの掲示板に祝意と謝意を表しておきました。
登山活動以後の調査活動も気合を抜かず楽しんで貰いたいと祈念しております。

Re: クビ・カンリ登頂

投稿者：塩崎将美 投稿日：2007年 9月 17日(月)06時 36分 57秒

> [No.101\[元記事へ\]](#)

谷君の頂上アタックの写真がUPされています。
皆さん、コメントを書き込んであげてください。

<http://blog.kansai.com/kubitsuangpo>

Re: クビ・カンリ登頂

投稿者：大森雅宏 投稿日：2007年 9月 14日(金)23時 39分 12秒

> [No.101\[元記事へ\]](#)

いいニュース。うれしいのとうらやましいのと。
山嶽寮、本編に間にあいませんが、折込入れましょうか。

クビ・カンリ登頂

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2007 年 9 月 14 日(金)21 時 32 分 43 秒

本日、日本時間午後 3 時 55 分、千田登攀隊長以下、学生 5 名、全員、クビ・カンリ初登頂しました。チベットの日本との時差は約 3 時間です。

山嶽寮御苦労様

投稿者：越田和男 投稿日：2007 年 9 月 12 日(水)21 時 52 分 33 秒

大森君有難う。今年も楽しみにしてます。

甲南山岳部の良き伝統のひとつは、誰かも書いておられましたが、「良く登り、良く書き」です。旧制高校の時代から、すでに百冊を超える冊子が刊行されています。或る時期には年に 3 冊の部内雑誌を出してました。

書くとしゃべるとは大違い。書くためにはじっくり考え、人の本も良く読みます。現役山岳部にも是非引き継いでほしい伝統です。今後よろしく。